

MB&F – コンセプトラボの誕生

2005年に設立されたMB&Fは、世界初の時計コンセプトラボです。20個におよぶ驚異的なキャリバーにより、絶賛に値するオロロジカルマシンとレガシー・マシンのベースを構築するMB&Fは、伝統的な時計製造の枠を超え、3Dキネティックアートを制作する、創始者兼クリエイティブディレクターのマキシミリアン・ブッサーのビジョンを継承しています。

マキシミリアン・ブッサーは高級腕時計ブランドで15年管理職を務めた後、2005年ハリー・ウィンストンのマネージングディレクターを辞任、MB&F（マキシミリアン・ブッサー&フレンズ）を創立。MB&Fは、ブッサーが尊敬し、働く喜びを分かち合うことのできる才能あるオロロジカル職人を集め、先鋭的なコンセプト・ウォッチのデザインと小規模生産を行う芸術的なマイクロエンジニアリング・ラボなのである。

2007年、MB&Fは初のオロロジカルマシンHM1を世に送り出した。HM1の彫刻のような立体的なケースと美しく仕上げたエンジン（ムーブメント）は、同社の風変わりなオロロジカルマシンの基準となり、その後、時を告げるためというより、「時を語る」マシンが数多く生み出されていく。こうして製作されたオロロジカルマシンでは、宇宙（HM2、HM3、HM6）や大空（HM4、HM9）、道（HM5、HMX、HM8）、水中世界（HM7）を探索するマシンがイメージされている。

2011年には、MB&Fはラウンドケースのレガシー・マシンコレクションを発表。これらはMB&Fにとってよりクラシカルなもので、現代的な芸術品を創作するために往年の偉大な時計製造革新者とは異なる視点で複雑機構を解釈し、19世紀の腕時計製造の卓越性への敬意を払っている。LM1及びLM2に続いて発表されたLM101は、全て自社開発したムーブメントを搭載する初のMB&Fマシン。そして、コレクションの幅をさらに広げるレガシー・マシン・パーペチュアル、レガシー・マシン・スプリットエスケープメントそしてレガシー・マシン・サンダードームの登場。2019年は史上初のレディース用MB&Fマシン「LMフライングT」の制作によりターニングポイントを迎えた。MB&Fは創設以来、現代的で型破りのオロロジカルマシンと、歴史からインスパイアしたレガシー・マシンを交互に発表している。

MB&Fの「F」が「フレンズ」（Friends）を表していることから分かるように、優れたアーティストや時計職人、デザイナー、様々な分野の製造業者をブランドにとっての「フレンド」と考え、協力関係を築くことはごく自然な成り行きだった。

そうした姿勢がブランドにもたらしたのが、パフォーマンスアートとコラボレーション作品という新たな2つのジャンルだった。パフォーマンスアート・モデルは、創造性豊かな社外のフレンドがMB&Fのマシンをベースにしてアレンジを加え、新たな形で表現した作品だ。一方、コラボレーション作品は、腕時計ではなく別のタイプのマシンで、MB&Fのアイデアとデザインに基づいて独創的なスイスのマニュファクチュールが設計、製造する。レペ1839と共同で製作されたクロックなど、コラボレーション作品の多くは時を語るマシンだが、リュージュやカラランダッシュとのコラボレーションでは別の種類のメカニカル・アートが創作された。

ブッサーは、こうして誕生したあらゆるマシンに、その魅力を発揮できる舞台を与えるため、従来型のブティックに陳列するのではなく、他のアーティストによる多彩なメカニカル・アートとともにアートギャラリーに展示することを思いついた。このアイデアにより、ジュネーブに最初のMB&F M.A.D.ギャラリーが設立され（「M.A.D.」はMechanical Art Devices：メカニカル・アート・デバイスの略）、その後台北、ドバイ、香港にもM.A.D.ギャラリーがオープン。

MB&Fがこれまでに成し遂げた革新的な成果に対しては、いくつもの権威ある賞が与えられてきた。全てを網羅することはできないが、名高い「ジュネーブウォッチグランプリ」においては5つもグランプリを獲得している。2019年にはLM FlyingT（LMフライングT）が「ベストレディースコンプリケーション賞」を、2016年にはLM Perpetual（LMパーペチュアル）が「ベストカレンダーウォッチ賞」を受賞。2012年にはLegacy Machine No.1（レガシー・マシン No.1）が「パブリック賞（時計ファンによる投票）」と「ベストメンズウォッチ賞（プロの審査員による投票）」をダブル受賞。また2010年の同グランプリでは、HM4 Thunderbolt（HM4サンダーボルト）で「ベストコンセプト&デザインウォッチ賞」を

詳細についてはこちらまでお問い合わせください

シャリス・ヤディガログラー cy@mbandf.com / アルノー・レジュレ arl@mbandf.com

MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland

電話番号：+41 22 508 10 38

MB&F

HOROLOGICAL LAB

受賞。そして 2015 年には、HM6 Space Pirate (HM6 スペースパイレーツ) が、国際的な「レッドドット・デザイン賞」において最優秀賞である「レッドドット：ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞した。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください

シャリス・ヤディガログラー cy@mbandf.com / アルノー・レジュレ arl@mbandf.com

MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland

電話番号 : +41 22 508 10 38

現在までの足取り

2019年：MB&Fは、SIHHにおいてl'Épéeとの10回目の共同制作となるMEDUSA（メデューサ）を発表。史上初のレディース用MB&F「レガシーマシン フライング T」の制作により、ターニングポイントとなった年でもある。MB&Fは、世界最速のトリプルアクシス（3軸）トゥールビヨン、レガシー・マシン サンダードームをご紹介します。

2018年：ステファン・サルパネヴァとの2度目のコラボレーションによるパフォーマンスアート作品、ムーンマシン2の発表から始まるMB&Fの一年。またHM9「フロー」が発表され、香港に新しいM.A.D. ギャラリーがオープンした。

2017年：MB&FはSIHHにて、水中をテーマとしたオロロジカルマシン N°7 アクアポッドを発表。レガシー・マシン・スプリットエスケープメントは10月に発表された。

2016年：MB&Fはジュネーブの名声高い「ジュネーブサロン（SIHH）」への参加を促される。メルヒオールの弟分であるシャーマンが誕生し、SIHHにて披露。その数ヶ月後、バルタザールがロボットクロックのラインアップに加わる。

1月には、ドバイにて3つめのMB&F M.A.D.ギャラリーがオープン。また「カラダッシュ」とMB&Fの共作である、アストログラフ・ペン、および10月に発表されたHM8カンナム（Can-Am）が披露された。

2015年：MB&F 創立10年を記念し、HMX、レペ1839とのコラボレーションによる卓上時計「メルヒオール」、そしてミュージック・マシン3を創作。さらに、MB&Fと時計職人ステファン・マクドネルが、LMパーペチュアルでパーペチュアルカレンダー機構を再解釈。

2014年：初めてインハウスで開発したキャリバーを搭載した新マシン、HM6 スペースパイロット&レガシー・マシン101の2機を発表。台湾の台北市に2つ目のM.A.D.ギャラリーがオープン。

2013年：2つ目のレガシー・マシン（LM2）が誕生。HM3をHM3「メガウィンド」として再設計。

また2013年には、MB&Fとオルゴールメーカー、リュージュとの初のコラボレーションを行う。宇宙船のようなデザインのオルゴール3部作の第1作目として、ミュージック・マシン1を発表。

2012年：70年代のスーパーカーにインスピレーションを得たHM5を発表。40年の歳月を経てスーパーカーが蘇った。

2011年：レガシー・マシン No.1が、19世紀の時計製造を讃える新ライン、レガシー・マシンのデビューを飾る。同年、初のMB&F M.A.D.ギャラリーがジュネーブにオープン、そのコンセプトを「オロロジカルマシンとメカニカル・アート・デバイスの極みが一堂に会する場所」とした。

2010年：MB&Fにおいて今日最も革新的なウォッチ、HM4 サンダーボルトが、「ジュネーブ・ウォッチ・グランプリ（GPHG）」を獲得。また、HM3の2つのバリエーションとして、HM3「フロッグ」、およびジュエリーブランド、ブシュロンとの共作によるJWLRYMACHINE（ジュエリーマシン）を発表。

2009年：オロロジカルマシン No.3「サイドワインダー」、「スタークルーザー」とともに、アイコンックなHM3シリーズを発表。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください

シャリス・ヤディガログラー cy@mbandf.com / アルノー・レジュレ arl@mbandf.com

MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland

電話番号：+41 22 508 10 38

MB&F

HOROLOGICAL LAB

2008年：オロロジカルマシン No.2 が、その独特の形状とモジュラー型構造で高級時計の世界に革命を起こす。

2007年：MB&F 初のオロロジカルマシン、HM1 を発表。

2006年：初めてのマシンを開発しながら、マックス（マキシミリアン・ブッサー）は世界各地を旅し、彼の事業の一端を担う将来の販売パートナーを説得。

2005年：大手ウォッチメーカーにおいて数十年に渡り、企業という枠組みの中で時計作りを学んだマキシミリアン・ブッサーは、型破りな「MB&F」という反乱を起こす。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください

シャリス・ヤディガログラー cy@mbandf.com / アルノー・レジュレ arl@mbandf.com

MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland

電話番号：+41 22 508 10 38